

ボーイスカウト都道府県連盟  
理事長各位

財団法人 ボーイスカウト日本連盟  
教育本部コミッショナー 井上保  
事務局 長 吉田俊仁  
(公印省略)

## 新型インフルエンザ (H1N1 型) による国内及び国際事業の対策について

新型インフルエンザ (H1N1 型) については、メキシコ、米国に端を発し、世界保健機関 (WHO) 発表では、感染者が世界 31 カ国・地域で計 5251 人になったと発表 (5月12日現在) しました。

米国が 2600 人で最多。続いてメキシコが 2059 人と、この 2 カ国で全体の 8 割を超えていて、現在も依然として各国へ感染拡大の虞があり、世界保健機関 (WHO) を中心に各国でその対応策が実施されつつあります。

しかし、日本においても感染者が確認されるなど、政府は厚生労働省を中心として「感染を拡大させない」方策について国内で実施する一方、外務省は、海外での感染発生国・地域については、世界保健機関 (WHO) が宣言する各フェーズに応じ「感染症危険情報」を発出することを想定しています。

当連盟では、新型インフルエンザ (H1N1 型) に関して文部科学省、外務省、厚生労働省等の情報・通達、指導に基づき、その感染を出来るだけ防止すべく、国内外のスカウト関係の行事について冷静かつ慎重な対応をおこなうこととします。

これに伴い、本連盟はもとより、各都道府県連盟の事業につきましても、今後の各関係機関の情報を注視し、本年度の日本連盟及び各都道府県連盟の国内主催行事、海外スカウト受入事業、派遣事業について下記のと通りの対応としますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記、

1. 国内における日本連盟主催事業  
政府の情報・通達、指導に基づき、中止・延期を含めた対応を実施します。
2. 国内における県連盟・地区・団等の主催事業  
政府から出される情報・通達、指導に基づいた対応をお願いいたします。また、状況によっては団・地区においては県連盟と、県連盟においては日本連盟と情報の共有を密にし、中止・延期を含めた対応をお願いします。
3. 海外派遣事業  
本年、特に夏季に実施する全ての海外派遣 (日本連盟、県連盟・地区・団等の海外派遣を含む) については、日本連盟から派遣国連盟へ新型インフルエンザ (H1N1 型) への対応についての情報収集を行うと共に、日本側派遣団の渡航の是非を検討し、必要に応じた対応をおこないます。
4. 外国のスカウトの受入  
日本連盟事業への各国連盟からの参加者の来日については、相手国の連盟と新型インフルエンザ (H1N1 型) への対応について共有すると共に、政府から出される情報・通達、指導に基づき、事業延期または中止を検討させていただきますので、県連盟、地区、団での外国スカウトを受け入れる場合につきましても、日本連盟事業同様に、慎重に対応されますようお願いいたします。

なお、上記を踏まえて今後の具体的な対応策につきましては、至急検討しご連絡いたします。

以上